

情報学委員会 安全・安心社会と情報技術分科会（第24期・第4回）
議事要旨

日時 令和元年10月10日(木) 13:00～15:00

場所 日本学術会議6階 6-A(1)会議室

出席者（敬称略）井上（遠隔）、岩田（遠隔）、岩村、後藤（遠隔）、坂井、佐古、
柴山、高木（遠隔）、高田、高橋（遠隔）、藤原（遠隔）、松浦、宮地、
安浦（遠隔）

オブザーバ（敬称略）荻野司（重要生活機器連携セキュリティ協議会）

1. 前回議事要旨の確認

前回議事要旨（資料1）を確認した。

2. セキュリティ研究における法的な問題について

重要生活機器連携セキュリティ協議会の荻野司氏から、セキュリティ研究における法的な問題についてプレゼンテーションをいただき、それに関して質疑応答ならびに議論を行った。ウイルス保管罪により逮捕された事例や、大学等で攻撃演習を実施する場合の懸念点について、意見交換を行った。

3. セキュリティ研究倫理について

松浦委員より、セキュリティ研究倫理について、資料2に基づいて、第2回および第3回でのプレゼンテーションの続報となるプレゼンテーションをいただき、それに関して質疑応答ならびに議論を行った。システムの脆弱性を発見した場合に、それをどのように扱うか、学術会議として何をすべきかを中心に議論を行った。

4. 今期の活動について

セキュリティ研究倫理は重要なテーマであるが、スケジュール的に今期に提

言をまとめるのは難しく、来期以降に対応すべきという議論が行われた。

5. その他

今回の議事要旨については、案をメールで委員に配布し、確認された後、出されたコメントへの対応については委員長に一任することに決定した。

次回の分科会は、来年の1月9日の情報学シンポジウムにあわせて開催する予定である。